

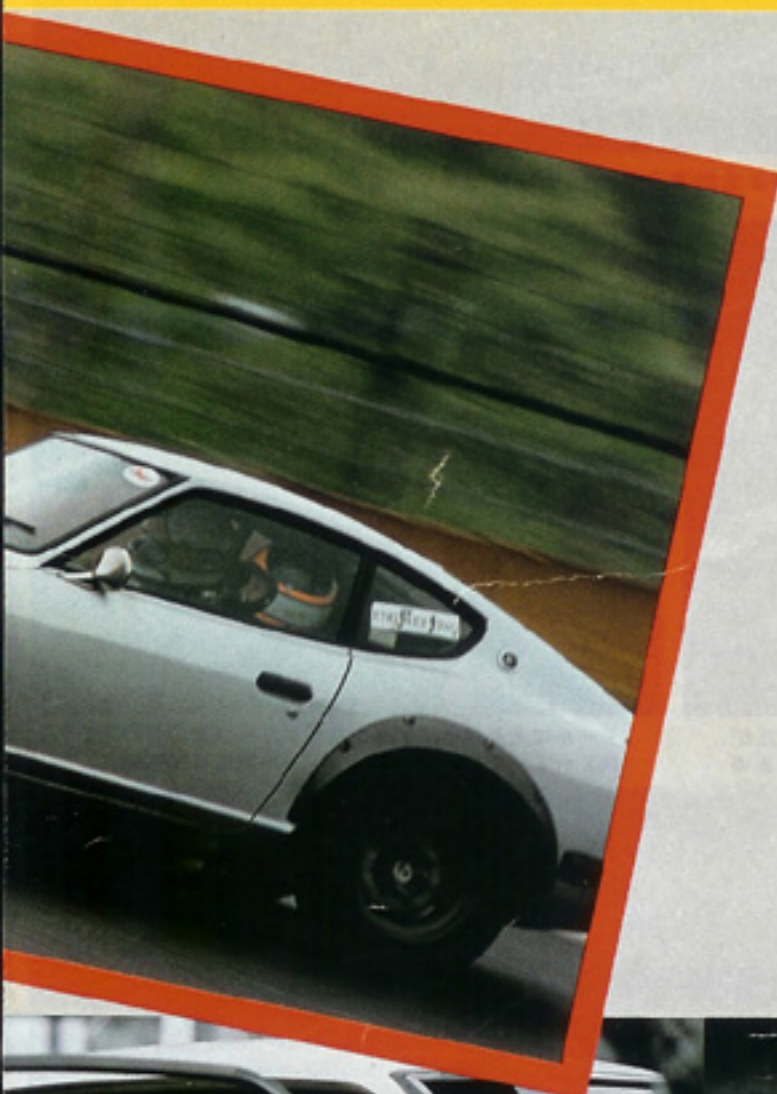


ノーマルな外観を持つチューニングカー、でも中味はギンギン

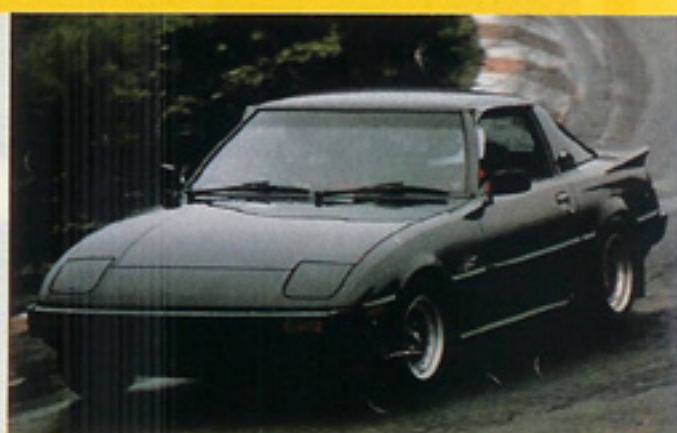


ヘアピンが一番奥深くなるところでは、レーシングカーのニュートラルにくらべて、チューニングはアンダー気味

印象的なリヤクウイングをかがけて走るグループ5カー。ストレートから一気に減速する第1コーナーでも、クルマの姿勢は安定している。このあたりがストリートカーとは、全く違うところ



星野選手の実戦さ ながらのハイテク 二ツクに参加者全 員は完全に脱帽！



第1コーナーをまわる藤田RX-7。走行会のおわった後のひと言。「さすが、ビビったヨ」



ワークスフェンダー付のZのコーナリングラインを後から見まわす。グループ5・RX-7の赤池卓選手



このシーンだけ見ればチューニングカーかレーシングカーかわからない。コクピットにおさまった星野選手



この日、参加した唯一のニューZ、エンジンは3100ccバージョンで、テールからは2本のマフラーが出ている

コーナーでは、純レーシングマシンとの差がハッキリと出てしまうのはいたし方のないところ